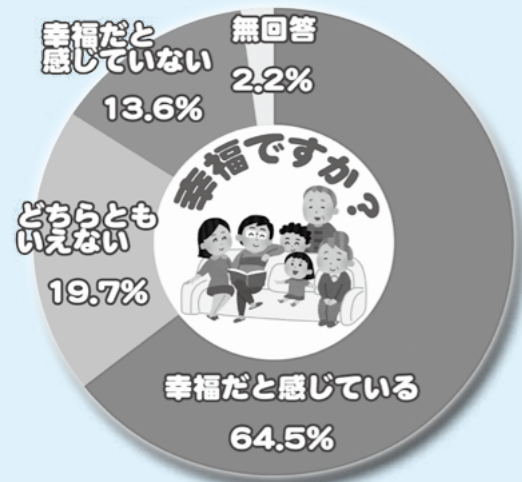


今回初めて調査しました。～町民の幸福について～

今回は新しく「町民の幸福度」についての設問を設けました。また、幸福という視点から「町民ワークショップ」を開催し、庄内町に住むことの幸福について考えてもらうきっかけを提供しました。

あなたは現在、幸福だと感じていますか？



●幸福を判断するときに重視するものは？

- 1 家族関係
- 2 健康状況
- 3 家計の状況



★家族関係 = 幸福を感じる条件

30～40代と70代で、幸福を判断するときに「家族関係」が第1位に挙げられています。20代は「自由な時間」、50～60代では「健康状態」が第1位となっています。

幸福の実感として「自然に恵まれている」「家族と良い関係がとれている」「余暇が充実している」が上位にあり、幸福感との相関性が最も高かったのは「家族と良い関係がとれている」でした。

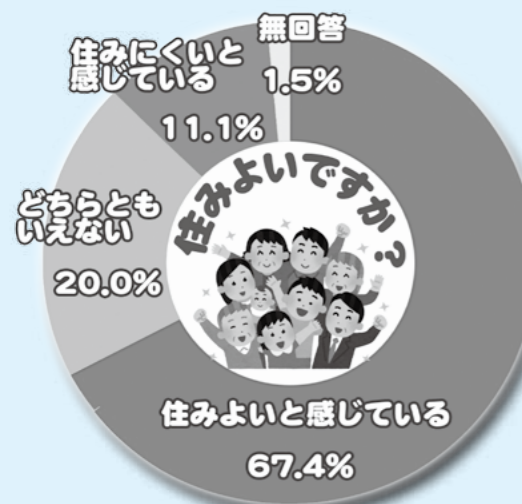
庄内町の幸福を考える 町民ワークショップ

昨年12月21日、響ホールで、町と東北公益文科大学の共催で開催し、北海道大学名誉教授の宇都宮輝夫氏による基調講演の後、住環境、観光、健康・福祉の3つ分野について、グループトークを行い、それぞれが10年後の庄内町の未来像を語り合いました。



みなさんにとって、庄内町は住みよいまち？

庄内町は、住みよいまちですか？



●魅力ある住みよいまちを目指して

★約68%が「住みよい」と回答

「住みよい」「どちらかと言えば住みよい」と回答した割合は、前回調査（平成26年度）と比較すると、大きな差はありませんでした。

「住みにくい」と回答された方の理由としては「買物の便が悪い」「働く場所が少ない」「道路・交通の便が悪い」が主な理由であり、地域別では狩川、清川、立谷沢地区がそれぞれ低い傾向にあります。

一方、「庄内町のどのようなところが魅力だと思いますか」の設問に対する回答では、第一学区から第三学区では「買い物がしやすい」が第1位となっています。



※比率はすべて百分率（%）で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%を上下する場合があります。

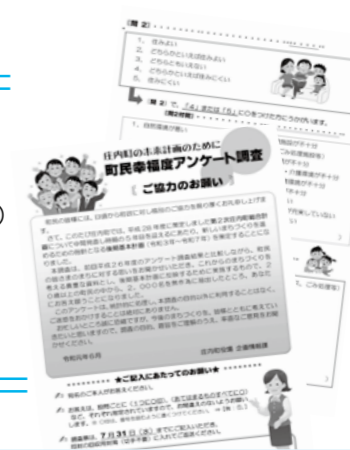


第二次総合計画・後期基本計画策定へ！

平成28年度に策定しました第二次庄内町総合計画が中間見直し時期の5年目を迎え、新しいまちづくりを進めるための指針となる後期基本計画（令和3年～令和7年）を策定します。10年後の庄内町の未来像を町民のみなさんからお聞かせいただきたく、町民幸福度アンケート調査を実施しました。各分野の「現在の満足度」や「今後の重要度」に関して調査を行い、「重点課題」や「今後の方向性」について報告書にまとめましたので、その概要をお知らせします。

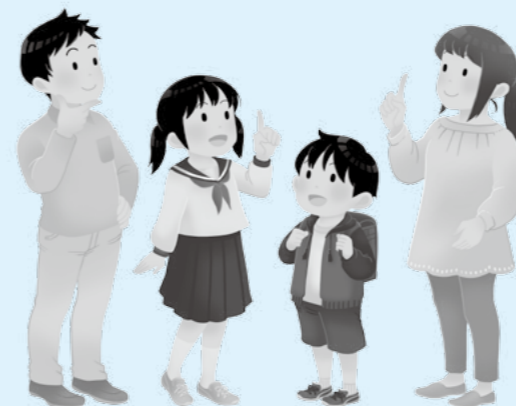
町民幸福度アンケートはこのようなして行いました！

- 調査（回収期間）／令和元年7月10日～7月31日
 - アンケート対象者／2,000人（町内の20歳以上の方を無作為に抽出）
 - 有効回収票／1,005票
 - 有効回収率／50.3%
- ※性別や年齢等の構成比は9ページをご覧ください。



みなさんが望む、今後の庄内町像は？

今後のまちづくりにおいて、庄内町はどのような特色のある町にするべきだと考えますか？という質問に次の順となりました。いただいた意見は、後期基本計画に反映させていきます。



- 1 快適な住環境のまち
- 2 健康・福祉のまち
- 3 子育て・教育のまち

★快適な住環境を重視

上位3位が他を大きく引き離してあげられた項目です。居住地区では、第四学区、狩川、清川、立谷沢地区で特に重視されています。

各学区地区ごとの満足度・重要度

★ 満足度が高い項目

満足度	立谷沢地区	清川地区	狩川地区
第1位	ごみ処理	ごみ処理	ごみ処理
第2位	保健サービス	町営ガス事業	上下水道の整備
第3位	上下水道の整備	上下水道の整備	町営ガス事業



満足度	第一学区	第二学区	第三学区	第四学区
第1位	ごみ処理	町営ガス事業	ごみ処理	ごみ処理
第2位	町営ガス事業	ごみ処理	町営ガス事業	町営ガス事業
第3位	上下水道の整備	上下水道の整備	上下水道の整備	上下水道の整備

★ 重要度が高い項目

重要度	立谷沢地区	清川地区	狩川地区
第1位	雪対策	雪対策	雪対策
第2位	治山・治水対策	ごみ処理	小中学校環境
第3位	防災・防犯体制	医療体制	ごみ処理



重要度	第一学区	第二学区	第三学区	第四学区
第1位	雪対策	雪対策	雪対策	雪対策
第2位	ごみ処理	ごみ処理	小中学校環境	子育て支援体制
第3位	医療体制	高速交通網・道路整備	医療体制	医療体制

● 町民幸福度アンケートの各構成比 () は平成26年度調査の値となっています。

<性別> 性別の状況は、「男性」が44.5%、「女性」が53.9%で女性の割合がやや多くなっています。

	男性	女性	無回答
構成比	44.5 (45.1)	53.9 (52.8)	1.6 (2.2)

<年齢別> 年齢における状況は、前回よりも「20歳～40歳代」の回収数がやや減少しています。

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
構成比	13.1 (14.9)	14.3 (16.9)	16.4 (18.7)	18.2 (18.0)	23.2 (18.7)	13.9 (10.7)	0.8 (2.1)

<職業別>

	自営業主	家族従業者	会社・団体役員	正規雇用者	非正規雇用者	主婦(夫)	学生	無職	無回答
構成比	8.6	3.4	4.4	38.5	17.8	7.9	1.2	15.8	2.5

<居住年数別> 「20年以上」庄内町に居住している人の構成比が全体の約80%を占めています。

	5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上	無回答
構成比	4.4	4.4	9.7	80.6	1.0

◆ 町ホームページでは「アンケート結果報告書」の詳細がご覧になれます！

今回のアンケート報告に関する詳しい内容については、町ホームページをご覧ください。

■ 問・ご意見：企画情報課企画調整係 ☎0234-43-0802

回答いただきましたみなさん、ご協力ありがとうございました。



各環境に関する満足度・重要度

《満足度で見ると》

★ 満足度が高い項目

満足度第1位	ごみ処理事業
満足度第2位	町営ガス事業
満足度第3位	上下水道の整備

★ 満足度が低い項目

満足度第45位	中心市街地の整備
満足度第44位	雪への対策
満足度第43位	商業の振興

全体的に見ると…

各項目の「満足」と「不満足」を点数化し、評価した結果、プラス評価項目が大部分を占め、町全体の満足度は高いといえますが、中心市街地、雪対策、商業振興等の満足度が低い状況です。



● 前回の町民満足度アンケート（平成26年度）との分野ごとの満足度の比較

満足度	今回	前回
第1位	生活環境分野	生活環境分野
第2位	教育・文化分野	教育・文化分野
第3位	保健・医療・福祉分野	保健・医療・福祉分野



※より詳細なニーズを把握するため、45項目に各分野の項目を細分化し、分野ごとのおおまかな比較をしています。

《重要度で見ると》

★ 重要度が高い項目

重要度第1位	雪への対策
重要度第2位	ごみ処理
重要度第3位	医療体制

全体的に見ると…

雪対策や医療体制の充実とともに、ごみ処理が重要視されています。前回2位の、幼・小・中の教育環境・施設の充実や子育て支援体制の充実などの子どもに関する取り組みは4位となっています。



● 前回の町民満足度アンケート（平成26年度）との分野ごとの重要度の比較

満足度	今回	前回
第1位	保健・医療・福祉分野	保健・医療・福祉分野
第2位	生活環境分野	生活環境分野
第3位	教育・文化分野	教育・文化分野



※重要度の比較も、満足度の比較と同様に、分野ごとのおおまかな比較をしています。